

## 24. 阪南町界隈の特徴的な長屋・住宅のある町並み



### ◆所在地

阪南町1丁目～5丁目

### ◆概要

阪南町界隈は大正13年(1924年)に設立された「阪南土地区画整理組合」によって順次、町並み整備が行われ、その際に様々な長屋が建てられた。伝統的な住宅様式から和洋折衷あるいは大胆な洋風のものまで様々な創意工夫がされた長屋が現在でも多く残されている。また、この界隈には、長屋以外の住宅でも特徴的なものが多く残されている。



## 25. 日本基督教団南大阪教会

にほんきりすときょうだんみなみおおさかきょうかい



### ◆所在地

阪南町1丁目30番5号

### ◆概要

日本基督教団南大阪教会は、大正15年(1926年)2月7日に日本基督教団大阪教会の創立50周年記念事業の一つとして独立し宣教を開始した。南大阪教会の設計監督を担当するのが若き建築家の村野藤吾で、昭和3年(1928年)に旧礼拝堂と教会塔は完成し、これが彼の処女作である。

旧会堂と教会塔は無事に戦火をくぐり抜けたが、時間の経過とともに傷みが激しくなり、旧会堂を取り壊すことになった。昭和56年(1981年)に新会堂が建築されたが、それも藤吾の手によるもので、これが宗教建築最後の作品となった。南大阪教会は、村野藤吾の処女作(教会塔)と最晩年の作品(新会堂)と共存している貴重な建築物である。

また、教会の南東方向には阪田寛夫「サッチちゃん」詩碑がある。阪田寛夫(1925年～2005年)は大阪市住吉区天王寺町(現・阿倍野区松崎町)生まれの詩人、小説家、児童文学作家であるが、彼は南大阪教会付属南大阪幼稚園の二期生でもあった。「サッチちゃん」は昭和34年(1959年)に書かれた童謡で、阪田寛夫が園児だった時に、1年上のクラスに「さちこ」という園児がおり、この「さちこ」さんに対する親しい思いを、後にこどもの詩という形に結晶させたもの。





## 26. 寺西家阿倍野長屋・寺西家住宅



### ◆所在地

阪南町1丁目50番25号

### ◆概要

寺西家阿倍野長屋は、昭和7年(1932)に建築され、平成15年(2003)に長屋では全国初となる国の登録文化財に登録されている。地下鉄御堂筋線昭和町駅に近く、木造2階建四戸一棟からなる瓦葺入母屋造の長屋で、二戸に仕切る防火壁は屋根より高くし、袖壁をつけている。各戸毎に木戸門があり、1階は玄関、茶の間、和室、台所、ガス風呂、便所があり、2階は和室2室で構成されていた。平成16年(2004)に外観の改装工事を行い、続いて入居されたテナントが長屋住宅を飲食店舗に内部を改装された。

寺西家住宅は、大正15年(1926)に建築され、当時の戸建て住宅の典型である。木造2階建入母屋造で和風建築の玄関横に洋式の応接間が取り付けられている。現在、住まいとして使用されながら、毎月の落語会をはじめ生花展や手作り作品展などの催会場としても利用されている。

## 27. 北畠住宅



### ◆所在地

阪南町4丁目8番、11番、14番、17番

### ◆概要

大正期の分譲市営住宅である。一角には「北畠自治町会」の石柱がある。

大正時代に「桐山」と呼ばれる森だったこの地が、周辺に先立ち区画整理されたことにより、周辺とは異なる区画形質の街区に位置する。また、街区内の道路も未舗装となっており、この地域の市街化履歴を語る上では重要な資源である。





おおさかしりつこうげいこうとうがっこう だいにこうげいこうとうがっこう  
 28. 大阪市立工芸高等学校・第二工芸高等学校



◆所在地

文の里1丁目7番2号、48号

◆概要

世界に巻き起こったモダンデザインの中核を担ったバウハウス運動の影響を色濃く受けて誕生した大阪市立工芸高等学校・第二工芸高等学校の本館は、大阪のバウハウスと呼ぶにふさわしい、モダンな建築デザインと感性を誇っている。

1、2階の外壁はレンガ積みで、玄関入口の大アーチが正面を引き立てており、3階には優美な曲線のマンサード風の屋根がかけられ、教室の窓で区切ること、曲面の美しさを一層際立たせるなど、外観全体が極めて特徴的なデザインになっている。屋根上にはシンボルの時計台がそびえ、アールヌーボーの建築様式をより一層印象づけている。

デザイン・造形を総合的に学ぶデザイン系5学科と美術科で構成される全国で唯一の高等学校で、大阪市立工芸高等学校として大正12年(1923年)に設立されている。その後、昭和16年(1941年)に第二本科(夜間部)が設置認可され、昭和28年(1953年)に第二工芸高等学校(定時制課程)として独立している。

あべのきょうかい  
 29. カトリック阿倍野教会



◆所在地

松崎町3丁目6番25号

◆概要

建物の外観は、ノアの方舟を象っている。聖堂側壁の12の窓にあるステンドグラスは、イエス・キリストに選ばれ派遣された12人の使徒の足跡、宣教、または殉教などを、聖書・聖人伝等を参考にして表現している。

